

# 合志市食育推進計画

## 中間評価報告

合志市健康づくり推進課

平成30年3月



男性料理教室の様子と野菜たっぷりの献立

## ■ 目 次 ■

第1章 計画の中間報告・見直しにあたって	1
1 趣旨	1
2 計画の期間	1
3 主な関連計画	1
第2章 中間評価	2
1 基本理念と重点目標	2
2 中間評価の方法	2
3 重点目標における評価	3
4 食育の取り組み一覧	11
5 事業をとおしての食育の取り組み	12
第3章 計画の着実な推進に向けて	13
1 計画の推進体制	13
2 環境整備	13
3 ライフサイクル別の事業展開	14

## 第1章 計画の中間報告・見直しにあたって

### 1 趣旨

「食育」は、様々な経験を通じて「食」に関する知識や、食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人を育てることです。具体的には、①規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食生活の実践、②食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する習慣を身に付ける、③自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めることを目標としています。

少子高齢化が進み、世帯構造や社会環境が変化し、核家族化、単独世帯やひとり親も増え、家庭生活の状況は多様化しています。簡単で便利な食生活が実現する一方で、栄養の偏りや不規則な食事、生活習慣病の増加という問題も抱えています。

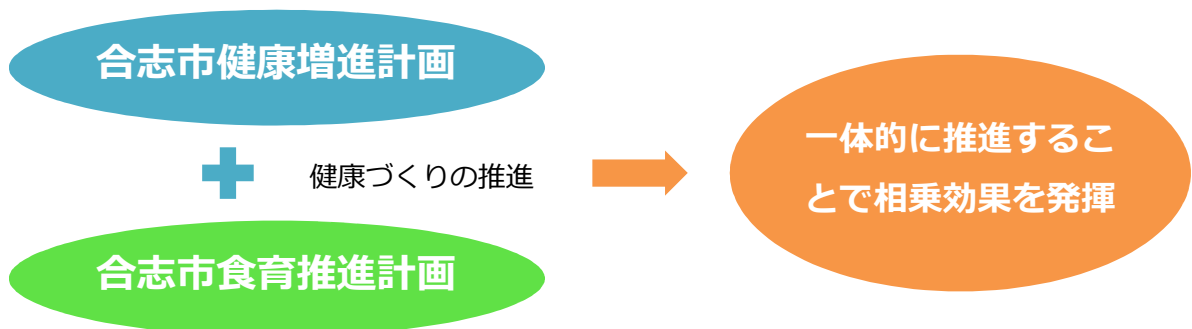
このような背景の中、本市の食育推進計画は、中間期の見直しの時期となり、平成32年度の目標達成に向け、これまで行なってきた取り組みの進捗状況の確認や実施事業の評価を行ないました。

### 2 計画の期間

	25年度 (2013)	1年目 26年度 (2014)	2年目 27年度 (2015)	3年目 28年度 (2016)	4年目 29年度 (2017)	5年目 30年度 (2018)	6年目 31年度 (2019)	7年目 32年度 (2020)
計画策定	→							
計画期間		→						
見直し					→			

### 3 主な関連計画

この計画は、食育基本法第18条第1項に基づく「市町村食育推進計画」に位置づけられます。市民の健康づくりを総合的、計画的に推進することを目的とする「合志市健康増進計画」を上位計画とし、食育の推進と健康づくりを一体的に推進します。



## 第2章 中間評価

### 1 基本理念と重点目標

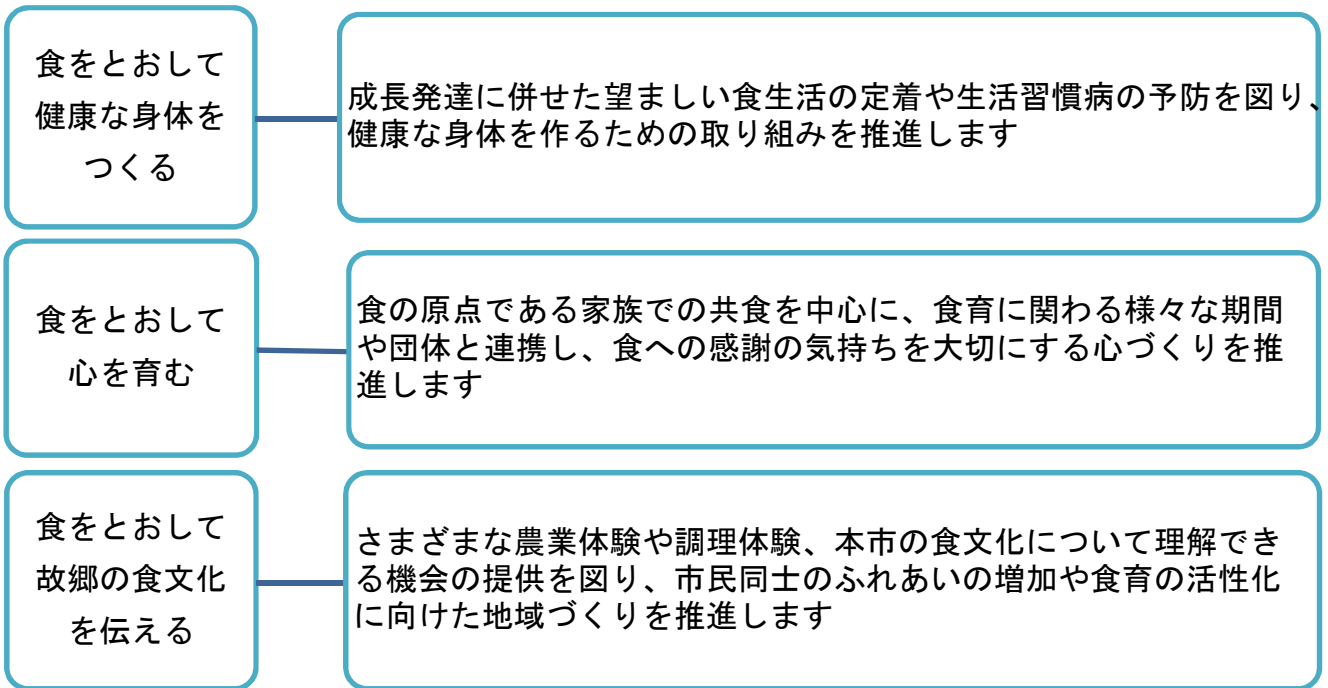
本市の食育推進計画は、「食を通して健やかな暮らしの実現を目指すこうし」とし、3つの重点目標を掲げ推進しています。

#### 基本理念

#### 計画の基本理念

### 食を通して健やかな暮らしの実現を目指すこうし

#### 重点目標



### 2 中間評価の方法

平成29年度の中間評価は、計画の進捗状況を確認するとともに、最終年度に向けて今後の取り組みの再検討を重点目標ごとに下記の方法で行ないました。

- (1) 進捗状況調書で市の取り組み状況を確認
- (2) 実施した事業の実績
- (3) 既存データ、事業に参加した市民のアンケートや感想

### 3 重点目標における評価

#### 【進捗状況調書】

重点目標	食をとおして健康な身体をつくる				
行動目標	生活リズムを身につける				
	妊娠期・子どものころからの食を大切にする				
	生活習慣病予防に取り組む				
取り組み事業		26 年 度	27 年 度	28 年 度	29 年 度
「早寝早起き朝ごはん」の普及啓発		○	○	○	○
乳幼児健診時の保健指導		○	○	○	○
母子手帳交付時の保健指導の充実		○	○	○	○
離乳食指導の充実		○	○	○	○
こうし健康塾やウエストサイズ大作戦など生活習慣病予防教室の充実		○	○	×	○

#### 【実施事業の実績】

##### ○ 栄養教室（離乳食教室・通称カミング教室）の実施

8～11カ月の児を持つ保護者を対象に、基本的な生活習慣の身に付け方、「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さ、発達に合わせた食事の進め方やおやつとの与え方、噛むことの大切さなどを伝える教室を開催しています。

「味付け、食事形態、おやつの量がわかってよかった。離乳食の進み具合が不安だったが解消できた」など参加者からは好評を得ています。

年6回の開催ですが、平成28年度は熊本地震により4月を中止しました。73人の参加がありました。参加率が12.6%と少ないため、4カ月・7カ月健診時に周知の強化に努めていきます。

「早寝、早起き、朝ごはん」に取り組もうと思いますかの設問に対する回答

(単位：人)



シンボルマーク

思う	難しい	思わない	未回答
71	1	0	1

資料：平成28年度の栄養教室参加者の参加者アンケート

○ 朝食の摂取状況

母子健康手帳交付時のアンケートや1歳6カ月児・3歳児健診の間診票から、朝ごはんの摂取状況を集計した結果、妊婦の約1/5に朝食の欠食がありました。

1歳6カ月児や3歳児は、90%以上が朝食を毎日食べていました。幼児期は、心身の発育発達が著しい時期です。基本的な生活習慣を身につけるためにも欠食率を少なくすることが大切です。

平成28年度の国民健康・栄養調査では、20～30歳代の若い世代の朝食欠食率が高く、国の第3期食育推進計画でも、若い世代を中心とした食育の推進が重点化課題となっています。

朝ごはんを食べている妊婦

		毎日食べる	4～5回/週	2～3回/週	ほとんど 食べない	不明もしくは 未記入	合計
H27	人数	521	58	57	40	23	699
	%	74.5	8.3	8.2	5.7	3.3	100%

資料：平成27年度妊娠届出時アンケート

朝ごはんを食べている1歳6カ月児

		毎日食べる	4～5回/週	2～3回/週	ほとんど 食べない	不明もしくは 未記入	合計
H28	人数	709	28	10	1	0	748
	%	94.7	3.7	1.3	0.1	0	100

資料：合志市1歳6カ月児健診

朝ごはんを食べている3歳児

		毎日食べる	4～5回/週	2～3回/週	ほとんど 食べない	不明もしくは 未記入	合計
H28	人数	644	32	10	7	4	695
	%	92.4	4.6	1.4	1.0	0.6	100

資料：合志市3歳児健診

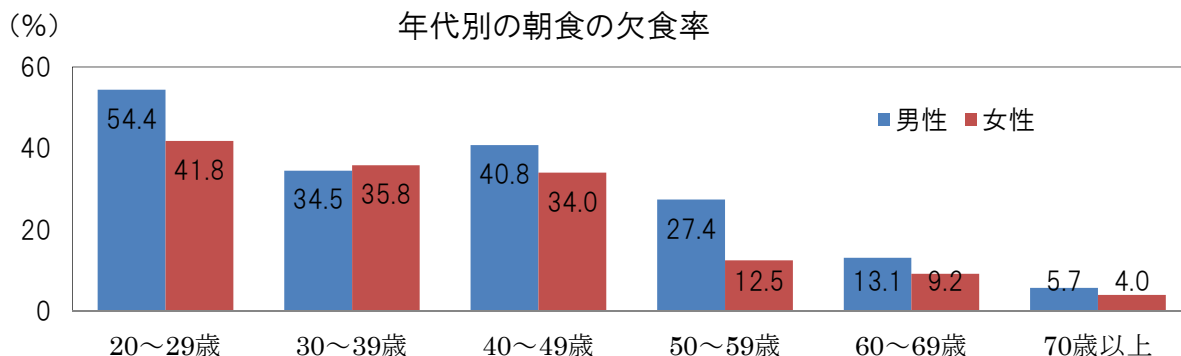
参考：小学5年生、中学2年生への実態調査 「Q. 朝食を食べますか」

		毎日食べる	食べない日も ある	食べない日が 多い	食べない	合計
小5	人数	515	75	16	0	606
	%	85.0	12.4	2.6	0.0	100
中2	人数	545	69	13	4	628
	%	86.3	11.0	2.1	0.6	100

資料：【集計シート：教育委員会用】平成29年度食育推進に関する調査

参考：平成28年度国民健康・栄養調査の結果から見る年代別の朝食欠食率

(この調査の欠食とは、菓子・果物などのみ、錠剤などのみ、何も食べないことを示しています)



資料：平成28年度「国民健康・栄養調査」

○乳幼児健診での保健指導



1歳6カ月児健診の様子

本市では、4カ月・7カ月・1歳6カ月・3歳児健診を実施しています。

この時期は、心身の発達が著しく、いろいろな味を覚え始める時期で、適切な食習慣をつくるのが大切です。「早寝、早起き、朝ごはん」をはじめ家族で食事をする「共食」「食事のマナー」について、管理栄養士や保健師が保健指導を行なっています。

○こうし健康塾

糖尿病は、自覚症状のないまま進行し、腎不全（人工透析）などさまざまな合併症を引き起こす病気で、本人の生活の質（QOL）の低下や医療費負担の増加につながります。

糖尿病について正しく理解し、日常生活の注意点を知り、重症化を予防することを目的に講演会と教室を開催しました。

	内容・講師	日程	参加者数
講演会	演題「糖尿病について」 宮川内科医院副院長 糖尿病専門医 宮川克俊 氏	平成30年1月29日（月）	72人
教室	糖尿病の食事・運動について くまもと健康支援研究所	①平成30年2月5日（月） ②平成30年2月21日（水）	①29人 ②19人
教室	糖尿病の食事（調理・試食） 市管理栄養士	平成30年2月13日（火）	18人

【現状と課題】

- ・母子保健分野で「早寝、早起き、朝ごはん」や「共食、食事のマナー」など、一貫した啓発を行いました。今後も妊娠期から継続した保健指導を実施していく必要があります。
- ・平成28年度の国民栄養調査の結果で、若い世代が朝食を欠食することが多い状況です。本市も同様の傾向があり、特に妊娠前の女性へ栄養の知識を普及する必要があります。
- ・平成28年度の生活習慣病予防教室（こうし健康塾）は、熊本地震の影響により休止しました。平成29年度は、糖尿病の重症化を防ぐための教室を再開し、糖尿病性腎症の予防強化に努めています。

【進捗状況調書】

重点目標	食をとおして心を育む				
行動目標	食を楽しむ				
	共食を大切にする				
	食事づくりや準備を楽しむことができる				
取り組み事業		26年度	27年度	28年度	29年度
旬の食べ物や食べ方など食に関する情報の提供		×	○	×	○
食育推進講演会・食育講座の開催		×	○	○	○
夏休み親子料理教室の開催		○	○	○	○
PTAへの食育啓発		×	×	○	○
食生活改善推進員によるふるさと学寮などの事業の開催支援		○	○	○	○

【実施事業の実績】

○広報による普及啓発

広報こうしのスマイルライフ（健康に関するコーナー）で、食事の適量について、旬の食材、郷土料理のレシピなどを掲載し食育の普及に努めています。

○親子料理教室の開催

成長期の子ども達が、食に興味を持ち、食の大切さを理解し、バランスのよい食べ方や、食事のマナーなど好ましい食習慣を身につけ、また、親子で楽しく調理することができるように年1回夏休み期間中などに実施しています。





親子料理教室

親子料理教室の参加者からは、「子どもと一緒に楽しく作ることができました」「家でもバランスのとれたメニューを頑張りたいです」「普段食べない野菜も自分で切ることで食べてくれてビックリでした」「家でも一緒に作ってみようと思います」（親）や「作ってみて楽しかった」「デザートをまた作りたい」「ハンバーグを家で作りたい」（子ども）などの感想がありました。

【現状と課題】

- ・広報マイルライフへの掲載は好評で、特にレシピは「作ってみました」「参考になりました」などの反響がありました。
- ・教室などの開催も恒例になりました。今後も定期的 to 実施し食育の普及に努める必要があります。

【進捗状況調書】

重点目標	食を通して故郷の食文化を伝える				
行動目標	自然の恵みや食事ができるまでの課程を学ぶ				
	郷土料理について関心を深める				
	地産地消を推進する				
取り組み事業		26 年 度	27 年 度	28 年 度	29 年 度
食農体験（栽培・収穫・調理）の促進		○	○	○	○
学校田やコミュニティの田んぼを使用した小学生のどろんこ体験		○	○	○	○
食生活改善推進員による伝承料理教室の開催支援		○	○	○	○
食生活改善推進員協議会編集のレシピ集普及		○	○	○	○
食に関連した事業やイベントの実施		○	○	○	○
学校・幼稚園・保育園等の給食における地産地消の推進		○	○	○	○

【実施事業の実績】

○食に関わる事業やイベントの開催

食育に関する事業やイベントは、増加傾向にあり、参加者の関心も高くなっています。食生活改善推進員協議会の認知度も高くなっています。



保育園や小学校で実施した郷土料理教室



平成26年に作成した健康食レシピ集

食生活改善推進員協議会の活動は、親子料理教室、男性料理教室、郷土料理教室、各地区健康料理教室、ヘルスサポーター事業、イベント運営への支援（市・社協・農業フェア等）、子育て支援センターでの料理教室、高齢者サロンでの料理教室、糖尿病予防教室、子育てサロンでのおやつ教室、減塩活動、ヘルスマイトが「TUNAGU」(繋ぐ)パートナーシップ事業、おやつで育む食育モデル実践講座、合志市の農産物を活かした独自の健康食のレシピ集の作成及び普及、地産池消の推進活動他多岐にわたります。



ドロリンピックで食についての講話

食生活改善推進員の教室開催実績

	H26	H27	H28
活動回数	27回	23回	30回
参加人員	718人	841人	1,014人

## 合志市の食育を支える団体の紹介

### 食生活改善推進員協議会とは

合志市食生活改善推進員協議会は、平成18年2月に合志町と西合志町が合併し、4月に設立され、旧西合志町食生活改善推進員協議会会員で発足しました。平成29年度は会員49人で活動しています。

食を通じたボランティアとして、積極的な活動を行っています。健康づくりや食育の推進に関する教室の開催、保育所や学校における郷土料理教室への支援など活動は多岐にわたります。

平成26年度策定の「合志市健康増進計画」および「合志市食育推進計画」の推進にも貢献する団体です。

平成26年度に熊本県健康づくり功労団体賞を受賞しました。

平成27年度には、合志市ボランティア表彰も受けています。

### 元気いっぱい！食生活改善推進員の皆さん



○ 食生活改善推進員養成講座

食を通じた高い知識と意欲を持ち、地域で健康づくりを普及する人材として、2年に1回食生活改善推進員養成講座を開催しています。栄養や運動、生活習慣病の予防、健康づくりの現状、ボランティアの役割などのカリキュラムで6回4カ月間の講座です。この講座の修了者が、食生活改善推進員協議会の会員となり活動しています。

食生活改善推進員の年次推移

	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9
会員数（人）	4 8	4 8	4 9	4 9
養成講座受講者数（人）	—	9	—	1 1

【現状と課題】

- ・食生活改善推進員協議会への講師依頼が増え、継続的に事業を実施できています。特に郷土料理教室は、保育園や小学校から複数の依頼があります。
- ・食育の普及は、食生活改善推進員協議会の活発な活動で支えられています。新規会員の加入促進が必要です。

#### 4 食育の取り組み一覧

基本理念		食を通して健やかな暮らしの実現を目指すこうし	
行動目標	市民の取り組み	行政の取り組み	
食を通して健康な身体をつくる	生活リズムを身につける	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組みましょう</li> <li>○夜寝る前の間食はやめましょう</li> <li>○規則正しい食事のリズムや生活習慣を身につけましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「早寝・早起き・朝ごはん」を推進し、規則正しい生活習慣の啓発するとともに、朝食の欠食者の減少に取り組みます</li> <li>●学校・保育所等において、子どもの発達段階に応じた望ましい生活リズムの実践に向けた支援を行います</li> <li>●朝食を食べる重要性について、若い世代を中心に働きかけていきます</li> </ul>
	妊娠期・子どもの頃から食を大切に	<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊娠期から、食への関心を持ち、望ましい食生活をしましょう</li> <li>○授乳期から、噛むことや飲み込む力を身につけましょう</li> <li>○「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつを身につけましょう</li> <li>○正しい食事のマナーを身につけましょう</li> <li>○食を通じて、食べ物や命の大切にする気持ちを身につけましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●妊産婦が妊娠・出産期から望ましい食生活を送れるよう、必要な知識や情報、相談支援の場を提供します</li> <li>●乳幼児健診や各種講習会、子育て支援施設、保育所などを通じて、子どもにとって望ましい食習慣の確立のための支援を行います</li> <li>●栄養教諭・栄養士・養護教諭等と連携し、給食指導や肥満・やせ傾向にある児童・生徒への支援を進めます</li> <li>●学校において、食に関する指導の充実を図るとともに、PTAと連携して食育に関する保護者への啓発を図ります</li> <li>●学校・保育所等での給食を通じて、「いただきます」、「ごちそうさま」のあいさつを行い、自然の恵みや食に関わるすべての人に対する感謝の気持ちを育みます</li> </ul>
	生活習慣病予防に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の食生活を見直し、家庭での食事を基盤とした望ましい食習慣にしましょう</li> <li>○自分の体重・活動量にあった食事の量を知り、適量を食べましょう</li> <li>○おやつやの量や内容、時間に配慮しましょう</li> <li>○定期的に健診(検診)を受けましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭や保育所、学校と連携し、やせ、肥満傾向にある子どもの減少に取り組みます</li> <li>●各種健康教育や特定保健指導などの機会を通じて、食習慣の改善に向けた栄養指導や相談支援を行います</li> <li>●広報紙や市ホームページ、ポスター、パンフレットなどの媒体の活用や、食生活改善推進員等との連携により、望ましい食習慣に関する知識の普及啓発を実施します</li> <li>●食生活改善推進員等の食に関するボランティアを育成し、活動を支援します</li> </ul>
食を通して心を育む	食を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家族や仲間との食事を通じて、食べることを楽しませましょう</li> <li>○好き嫌いをなくし、好きな食べ物を多くしましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校給食に交流給食や行事食などを取り入れ、友達と楽しく一緒に食べることににより、食べる喜びや食への満足感を高めます</li> <li>●公民館等において、各種料理教室を開催し、協力して料理を作り、おいしく食べる機会を提供します</li> <li>●地域における会食や食事の提供を通じ、一人暮らしの高齢者などの孤独感の解消を図ります</li> </ul>
	共食を大切に	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家族や友人などと楽しく食事をしましょう</li> <li>○食を通じたコミュニケーションをとりましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育所や学校を通じて、家族や友人などと楽しく食事をすることの大切さを啓発していきます</li> <li>●食生活改善推進員等の食に関するボランティアと連携して、共食の大切さを啓発していきます</li> </ul>
	食事づくりや準備を楽しむことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事づくりやその準備を通して、家庭における食育に取り組みしましょう</li> <li>○世代間交流(自治会行事など)による地域ぐるみの食育に取り組みしましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育所と連携して、食育の取組を保護者や地域に向けて発信していきます</li> <li>●学校教育活動全体を通じて、自然の恵みや食に関わる人への感謝の気持ちを育みます</li> <li>●給食の時間を通じて、食事の準備や好ましい食事マナーを身につけることができるよう、指導を行います</li> <li>●親子料理教室や男性の料理教室などを開催し、料理をすることの楽しさを普及・啓発していきます</li> <li>●男女が共に協力して食事づくりや後片付けに取り組むことができるよう、啓発を進めます</li> </ul>
食を通して故郷の食文化を知る	自然の恵みや食事ができるまでの課程を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農産物ができるまでの課程について学びましょう</li> <li>○食べ物と環境の関わりについて学びましょう</li> <li>○食に関する体験などを通して、食べ物と自然を大切にすることを身につけましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食の生産・収穫・加工に関する親子などの体験活動を通して、食への関心や食べ物などを大切にすることを育みます</li> <li>●小・中学生向けの農業体験や自然体験の場を通じて、食への理解を深めます</li> <li>●市民農園や体験農園など、市民の農業体験の機会を推進していきます</li> <li>●生産者と関連機関、消費者が互いにコミュニケーションが図れる環境を整備していきます</li> </ul>
	郷土料理について関心を深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭の味を次の世代に伝えましょう</li> <li>○郷土料理、行事食を学び、大切にしましょう</li> <li>○食に関するボランティアや地区活動に参加し、家庭の味や郷土料理を伝えましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校・保育所等の給食を通して、郷土料理や行事食を取り入れ、日本型食生活や食文化を大切にすることを育みます</li> <li>●市の広報紙や各種媒体を通じて、郷土料理や行事食の情報発信を行っています</li> <li>●各種料理教室や講座を通じて、地域に伝わる郷土料理や行事食などの普及啓発を行います</li> <li>●食生活改善推進員等の食に関するボランティアへの活動支援を通じて、郷土料理や行事食の普及・啓発を促進します</li> </ul>
	地産地消を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○合志市で取れる農産物を知りましょう</li> <li>○地元食材や旬を活かした食事を楽しみましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校や保育所を通じて、地産地消の食材などについて学ぶ機会の充実を図ります</li> <li>●市の広報紙や各種媒体を通じて、地産地消に関する啓発を行っています</li> <li>●市の特産品の開発やブランド化を進め、新たな食文化の創造に努めます</li> <li>●食生活改善推進員等の食に関するボランティアへの活動支援を通じて、地産地消を促進します</li> </ul>

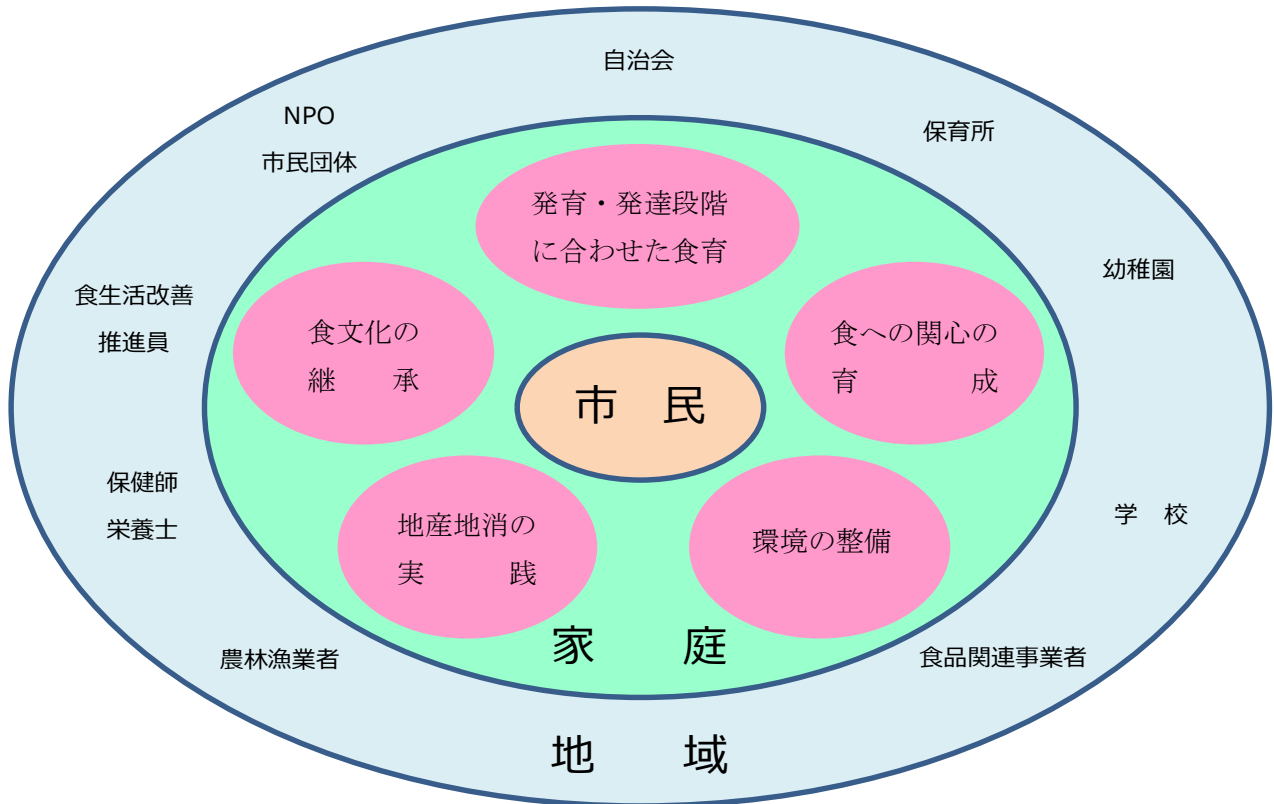
5 事業をととしての食育の取り組み

行動目標	事業や取り組み	成果指標	策定時の指標	現状値	目標値	中間評価の指標として使用した資料		
食を通して健康な身体をつくる	生活リズムを身につける	○ 毎日朝ごはんを食べる子どもの増加	小学5年生 91.5% 中学2年生 85.4%	85.0% 86.3%	100%	教育委員会用平成29年度食育推進に関する調査		
		○ 毎日朝ごはんを食べる成人の増加	男性 80.3% 女性 86.9%	— —	95%			
		○ 朝食を食べる時間が決まっている子どもの増加	小・中学生 72.7%	—	90%			
	妊娠・出産から食を大切に	* 「早寝早起き朝ごはん」の普及啓発						
		* 乳幼児健診時の保健指導の充実						
		* 母子健康手帳交付時の保健指導の充実						
		* マタニティー学級での栄養指導の充実						
	生活習慣病予防に取り組む	* 離乳食指導の充実						
		* こうし健康塾やウエストサイズ大作戦など生活習慣病予防教室の充実						
		○ 給食を残さずに食べる子どもの増加	小学5年生 61.9% 中学2年生 51.7%	— —	80%			
食を楽しむ	食を通して心を育む	○ 適正体重を維持する子どもの増加	小学5年生男子 83.7% 小学5年生女子 88.9% 中学2年生男子 90.0% 中学2年生女子 91.2%	— — — —	95%			
		○ 適正体重(BMI18.5～25未満)を維持している成人の増加	成人男女 69.6%	—	75%			
	食を通して心をはぐくむ	共食を大切にする	○ 給食が好きな子どもの増加	小学5年生 43.6% 中学2年生 23.1%	— —	50%		
			* こうし健康塾やウエストサイズ大作戦など生活習慣病予防教室の充実					
			* 食育推進講演会・食育講座の開催					
			* 夏休み親子料理教室の開催					
		食事づくりや準備を楽しむことができる	* PTAへの食育啓発					
			* 夏休み親子料理教室の開催					
			* 食生活改善推進員によるふるさと学寮の支援					
			○ 調理のお手伝いをする子どもの増加	小学5年生男子 55.70% 小学5年生女子 79.70% 中学2年生男子 41.60% 中学2年生女子 63.10%	— — — —	小学5年生 80% 中学2年生 70%		
食を通して故郷の食文化を知る	自然の恵みや食事ができるまでの課程を学ぶ	○ 農業体験をしてみたいと思う子どもの増加	小学5年生 36.9% 中学2年生 18.0%	— —	50%			
		* 食農体験(栽培・収穫・調理)の促進						
	郷土料理について関心を深める	* 学校田やコミュニティの田んぼを使用した小学生のどろんこ体験						
		* 食生活改善推進員による伝承料理教室の開催						
		○ 郷土料理教室の開催や支援	教室開催数 4回	6回	6回	平成28年度合志市食生活改善推進員協議会事業報告		
		* 食に関連した事業やイベントの実施						
地産地消を推進する	* 学校・幼稚園・保育園等の給食における地産地消の推進							
	* 食生活改善推進員協議会編集のレシピ集普及							
		○ 合志で取れる野菜やくだものことについて話をする子どもの増加	小学5年生 21.1% 中学2年生 10.6%	— —	30%			
		○ 地産地消の認知度の向上	小学5年生 49.2% 中学2年生 57.0%	— —	70%			

### 第3章 計画の着実な推進に向けて

#### 1 計画の推進体制

本市における食育は、関係課や関係機関において、家庭、保育所・幼稚園、学校、地域での食育推進を目指した取り組みを行っており、今後も引き続き施策の推進を図ります。



#### 2 環境整備

本計画の基本理念に基づき、継続した取り組みを進めていくため、市民、関係機関や団体、行政を中心とした推進母体となる組織づくりを含め、様々な環境整備に努める必要があります。

#### 3 ライフサイクル別の事業の展開

ライフサイクル別の実施事業を確実に実施していき、全市民に食育が浸透するように努めていきます。

3 ライフサイクル別の実施事業

	次世代の健康づくり				働きさかり(成人)の健康づくり						高齢者の健康づくり	
	乳幼児期		学童期・思春期		青壮年期		中年期				高齢期	
	妊娠(胎児)	0 1 歳	5 歳	18 歳	20 歳	30 歳	40 歳	50 歳	60 歳	65 歳	75 歳	
行動目標	関連事業											
食を通して健康な身体をつくる	生活リズムを身につける	母子健康手帳交付		親子料理教室								
				乳幼児健診								
				栄養教室								
生活習慣病予防に取り組む	妊娠期・子どもの頃から食を大切に	母子健康手帳交付		親子料理教室								
		妊婦訪問		乳幼児健診								
				栄養教室								
食を楽しむ	食を楽しむ	親子料理教室		親子料理教室		生活習慣病健診				生活習慣病予防教室		
		乳幼児健診		2カ月児訪問(産婦も含む)						特定健康診査		
		栄養教室		乳幼児健診						特定保健指導		
食を通して心を育む	共食を大切にする	親子料理教室		親子料理教室						減塩教室		
		乳幼児健診		乳幼児健診						塩分測定		
		栄養教室		栄養教室						塩分測定		
食を通して故郷の食文化を知る	食事づくりや準備を楽しむことができる	親子料理教室		親子料理教室						男性料理教室		
	自然の恵みや食事ができるまでの課程を学ぶ	ドロリンピック		どろんこフェスタ								
		園・学校での栽培体験		園・学校での栽培体験								
地産地消を推進する	郷土料理について関心を深める	郷土料理教室		郷土料理教室						レシピ集の販売		
										広報でレシピ紹介		
	学校給食における	学校給食における		学校給食における								
	県産食材の活用	県産食材の活用		県産食材の活用								